

# 理研会報

発行 理研会事務局  
〒500-0905 成田市成田50  
成田小学校内

## 教研大会に参加して佐川 齊藤千江子

百二十数名をかかえた理科研究部会、互配の方々から若い人々まで、それぞれの考えや疑問を持つて参加されているようでした。私自身は何が、何がほしいというものが単なる思いのつみや一度や二度の研究授業ですすまされたり、一方的な考えでまとめあげられたりするものでないことを身にしみて知っているはずであるのに、もう時が過ぎると、他人の事のような気が持たせられていたからです。数多くの女の先生方、熱心に発表の目をかたむけ、くじさがつた質問など、さすがは印刷の理科だなと感ぜました。

### 理科学習指導講座に参加して

船越中 緒方克好  
夏休み中、各種の研修行事が催されまが、その中で特に私の期待している行事の一つが本講座です。いつもながら現場にマッチした新鮮な教材、講師にあられる先生方の綿密周到な準備と熱心な指導、頭がさがる思いです。そして受講中、先生方からなされる学習指導上の問題点、悩み、苦心、アイデア等自由に話しあえる雰囲気、本当によいものだといつも感じています。

### 採集会に参加して

伊西中 杉山栄一

先日の新羅に、高校生が上高地で千ヨウワビを採りかまえて採集されたことが報道されていた。自然公園法というのがある。保護地区内での動植物の採取を禁止されており、これに違反したためだといふ。

これからの採集というものは、心ずきと場所を心得ておかなければいけないことと教わっている。よくぞ、保護地区内であれば、我が身から血を吸い出している。双翅類の採集のために献血しなればならぬらしい。

とはいっても印刷品を採るだけでは大丈夫なのだろう。八月十日、三部会で野井先生（佐倉中）の指導

## 花の散歩道

八津 鉦治

あまい香りがする、繊細な花の乱れをあがず眺めている。ふと目につくその甘い雰囲気がいじ、可愛まことに愛すべしとは植物園の中で牧野博士がナデシコに与えている愛語である。フモイ系のシモフリナデシコが一番いい。しかし、センノウもいい。野栗の中でも高山のものになると品がさがってくる。世界の土湯峠で採りてきたタカネナデシコが咲いた。高山では20種くらいは草丈で赤紫色の手まりだったが、下界では60種ものびてしまつてまよ風な情を寄すが如しである。しかし花は良い、カワラナデシコなどくらべればさすがにバツグン。そして沢山の奥を結んだ。

「ランジもい、タカネナデシコとなれば白うはがりの品格である。センノウもい、白花マツモ導のもとに長兵衛大橋周辺の薄の採集会を行つた。総勢2人、薄採用のヒツカキを持つてのひで左は奇異にうつららしい。当日は風が強く、舟は出せなかったが岸辺でも沢山の葉が採集された。

私は今までの採集はやつたことがなく、薄についての知識は皆無といつてよい程だった。しかし、日の採集会で20種近くの名前を覚える機会にめぐまれた。オモダカ、ミズアオイ、クワモ、...、どれも珍らしいが、これにいく何も知ら

らなないので一つでも名前を覚えることに参加の意味があった。採集というものは、それ自体新種の発見でもない限り学問的な意味はほとんどないが、自然に好奇心を持つ子どもを育てる一歩である。ただ採集といつていたものに名前をつけていることを知った。たとふ、以前とは違った自然への関心がでてくると思ふのである。

野山を子どもと一緒に歩くとき子どもは教師に草や虫の名前をさすにいく。内心、名前を覚えることが自然科ではないとおもつても、こういうことに答へられたいことはありである。切つて子どもは自然への関心を高めたい。そして子どもにもなりがたい。こんごもエマをつくり採集会に参加して勉強して欲しい。

それにして採集が違法になるなんて、子どもがセミを採るといふ問題ではないんだ。それを保護してやらぬ生物的自然のそしとのほろがもつと大きな問題なんだ。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。

秋の野山は素晴らしい。秋の色は紫の色、春の色を若さというならば秋の色は知性といえるでしょう。自然のへつていくこの地域の美しい野草を今こそ我が家に保護しようではないですか。